



平成30年

12月の園だより



すいこう認定こども園

餅つきの由来は、奈良時代の記録によると「伊勢神宮などに鏡餅が備えられていた」と書かれています。餅を食べる習慣は、武家の年中行事が商家へと伝わり、商家から農家へ。農家では、神仏や農具に餅を供え、豊作と家内安全を祈ったそうです。

園では、5日にみ仏様にお供えするためにお餅つきをします。

お餅つきの日には、ご近所のおじいちゃん、おばあちゃんにもご参加いただき、お餅つきのことなど教えていただければと思っています。詳細については、後日プリントを配布します。



お手伝いをさせよう

子どもたちは、お手伝いが大好きです。「ありがとう」「助かったよ」という言葉を聞くと、自分が認められたと思うのでしょうか。二度手間になると思われるかもしれませんが、その子にできるお手伝いを見つけ、役に立つ喜びをしっかりと味あわせてあげてください。

園でも、子どもたちと一緒に年末の大掃除をします。



異年齢保育の中で育つもの

朝夕の冷え込みが強くなり、下痢や嘔吐、突然の発熱などと体調を崩す子どもが見られるようになりました。インフルエンザはまだ出ていませんが、流行を防ぐため園では、手洗い・うがいを励行し、午睡を含め十分な休養とおいしい給食で栄養を摂ってまいります。ご家庭でも『早寝早起き、朝ごはん』に心がけ、予防に努めていただければと思います。

さて、先日開催いたしました作品展は、天候にも恵まれ、たくさんの方においでいただき、賑やかに開催することができました。給食室自慢の栗入おこわやから揚げ、チーズケーキなどのスイーツは、あっという間に完売し、多くの方にお越しいただいたのだと嬉しく思いました。早朝よりお手伝いをいただいた保護者の皆さんにも心より感謝いたします。ありがとうございました。

作品展会場も賑やかでした。例年とは異なり、個人制作はなく、友だちと協力して、時には異年齢でそれぞれテーマに合った作品を何日もかけて作ってきました。年中さんや年少さんが作ったお団子や空き箱虫などを楽しく展示してくれる年長さんは、小さな子どもたちのあこがれです。すいこうでは、5月ごろより『ふれあいグループ活動』と称して幼児さんが6つのグループに分かれて一緒に歌をうたったり、お散歩に行ったり、給食を食べたりして楽しく過ごしてきました。運動会では、涙が出ている年少さんに気づき、自らそばに駆け寄り、頭をなでて、手を引いてあげる年長さんもいました。そんな年長さんが、作品展では、意気揚々とお客さんに弓矢の打ち方を説明したり、おばけになって驚かせたりしているのですからますますあこがれの気持ちを持つ年中さん、年少

♪ 田舎 ♪ 月 ♪ 節 ♪

さんは増えていきました。年中さんの中には、「今度は、僕たちがするんだよね」と来年の作品展を楽しみにする子どもも出てくるほどです。異年齢で過ごす中で、身近なお兄さん、お姉さんに優しくしてもらっていると、自然と優しい気持ちが育っているのです。小さな子どもたちは、「自分も大きくなったら、あんなおにいちゃん、お姉ちゃんになりたい。」という、あこがれのような気持ちが芽生え、主体的な行動へと繋がっていくのです。同年齢の中では、ちょっぴりおとなしい子でも、小さな友だちの前では、たくましいお兄ちゃん、お姉ちゃんの顔を見せるのですから、異年齢で過ごすことの効果は大きなものがあります。

大きい子どもたちは、自分のしたいことをちょっぴり我慢したり、泣いている友だちに優しく声をかけたりして、相手のことを思っている、人とかわる力が育っているのです。乳児さんも朝の受け入れ時は、一緒に過ごしています。泣いている赤ちゃんのそばに行き、心配そうにのぞき込んでいる2歳児さん。ミルクを飲ませてあげていると一緒に哺乳瓶をもってくれる1歳児さん。そんな子どもたちの姿は、本当にかわいいなあと愛おしく思います。異年齢で過ごすからこそ相手を思う優しさ、気持ちが育まれるのです。今後も継続して異年齢で過ごす時間を取り入れていきますが、子どもたちにとって、いつもと違う小さな社会の中でさまざまなことを学び、より自分らしさを発揮する場となればと思っています。

これから寒さも厳しくなり、年の瀬という事であわただしい日々を過ごされることでしょうか。ご家族揃って楽しく新年を迎えられることを願っています。

園長

子育てメッセージ



ギュッとして ホッ!

ときどき、子どもも親も不安になる時があります。どうして泣くの? どうして話を聞いてくれないの? どうして...? どうして...? そんなとき、子どもをギュッと抱きしめてみてください。ほら、自分の心があたたかくなって、子どもの心もあたたかくなって... ホッ!

それでいいんです。

年長さんも生まれてまだ6年。しっかりギュッと抱きしめてあげてくださいね。

(社) 全国私立保育園連盟

子育てメッセージより



年越しに食べるもの

年越しそばは、江戸時代ごろから食べられていました。その由来については、さまざまな説があります。

- そばの実が三角形なので、邪気を払う
- そばは、細くて長いので長寿になるように

などがあります。また、地域によっては、年越しうどんや、さけやぶりなどの年取り魚を食べる風習があります。

